



ゆずっこ

福島市立御山小学校
学校だより NO. 12
令和6年12月18日(水)
発行者 校長 高澤 里美

みつけたよ！きらりポイント

だいぶ前のことでの申し訳ないのですが、夏休み直前、御山小学校区青少年健全育成推進会主催により、「令和6年度 みつけたよ！わたしのきらりポイント」の募集が行われました。

123名の子どもたちから「きらりポイント（いいところ、がんばっているところ）」の応募がありました。全部読みました。自然と顔がほころびました。そして、思いました。自分のいいところ、がんばっているところがわかるって素敵だなと。

応募してくれた子どもたちは、120文字の応募用紙を前に、自分を見つめたことでしょう。おうちの方と一緒に「自分のよさ」を考える時間をもてた子どももいたでしょう。中には、考えても見つからなくて、友達や家族に「ねえねえ、わたしのよいところって・・・？」と尋ねた子どももいたかもしれません。自分の内面に目を向ける機会は、意識しないとなかなか生み出せません。自分としっかりと向き合う時間ももてたのは素敵なことだな…などと考えながら応募用紙を読んでいると…、この審査会を12月4日に行うという文書を見つけて、思い出しました。例年、応募した児童の中から最優秀賞と優秀賞を決めていたことを…。

悩みました。その子のよさに優劣なんてつけられるものではありません。審査員8名が同じ想定でした。が、全員優秀賞！！というのも想定されていないので、わたしは、「こんな自分のよさに気付いた人がいたよ」と特に紹介したいと感じた人に1票を投じることにしました。

そして、応募者123名を代表する3名が、最優秀賞として12月6日の全校朝の会で、青少年健全育成推進会長から表彰状をいただきました。



3人のきらりポイントを紹介します

1年

ぼくのすごいところは、力持ちのところです。買い物の荷物を持つのを手伝って、お母さんありがとうございますと言われたり、お父さんの肩もみをして喜んでもらったりしています。将来は、消防士になって、たくさんの人を助けたいです。

自分のよさを、人のために…

♥優しさ♥

3年

「おはようございます！」毎朝、通学路では、地域の方や先生方が見守ってくださっています。私は、その方々に自分からあいさつをするように心がけています。あいさつは人を幸せな気持ちにします。「ありがとう」という気持ちであいさつをしたいです。

人を幸せにするあいさつに、ありがとうございます…

1年生から続けて…。ゴミのない通学路にしたい！

3年

ぼくのきらりポイントは、ゴミ拾いをすることです。1年生から学校の帰り道にゴミが捨てられていると、拾って持ち帰っていました。家族からは「すごいね」「えらいね」と言ってもらいます。これからも、ゴミを拾い続けてゴミのない通学路にしたいです。

もう少し紹介させてください

私のきらりポイントは・・・

困っている友達にあたたかい言葉をかけたり助けてあげたりします

優しいです。クラスの男子全員に優しいと言われます。だけど、ダメだよと思ったときや嫌だなと思うときに、はっきり言えない自分がいます。
そんなことも伝えられる本当の優しさになれる勇気がほしいです。

野球が好きで毎日欠かさず練習しています。やりたくないと思った日は1日もありません。暑い日も寒い日も、必ず練習します。それは、将来プロ野球選手になるからです。これからも変わらずに、強い気持ちで続けていきます。

家族の手伝いを進んでもするところです。家族は帰ってくるのが遅く、家にはおばあちゃんしかおらず、大変そうなので、犬の散歩やおつかい、食事の準備などは自分が手伝おうと始めました。

思ったことをはっきり言えるところです。友達と喧嘩したときに自分からはっきりと謝ったり、自分の意見をしっかりとと言えたりしたからです。でも、はっきりと言いすぎたりするので、1回、心の中で考えてから伝えられるように心がけたいです。

自分で早くおきます

時間を守ります

停まっていただいた車の運転手さんをよく見て、お辞儀ができます

自然を大切にしています

絵本大好き
夏休みに絵本100冊読んだよ！

お手伝いするのが好きです。みんなの力になりたいからです。でも、一人でお手伝いするより、みんなで一緒にするのが好きです。みんながきらきら笑顔になるからです。

何にでもチャレンジする

友達によく「優しいね」と言われます。自分ではそうは思いません。友達が困っているときは助けるのがあたりまえだと思っているからです。この話をお母さんにしたら、あたりまえのことをできるところがすてきだよと言われました。

ゆずれます

あきらめないところです

元気なところです。なぜかというと友達といふと、元気におしゃべりすることができるからです。私はお話しすることが大好きなので、これからも先生やお友達と元気にお話ししていきたいです。

全員のきらりポイントを紹介できず、ごめんなさい。

冬休みまであと少し

教室を回っていると、子どもたちがテストやドリルに取り組み、学習のまとめをがんばっています。でも、私が知っているちょっと昔の12月末の教室と少し雰囲気が違うのです。落ち着いて授業が進められているのです。友達と課題の解決に向けて熱心に話し合う姿も見られます。

なぜだろう…

「通知票を前後期で配付するようになったからだ！」と思い当たりました。通知票がないので、この時期、評価のために多くの時間を割く必要がなく、2学期の最終日まで落ち着いて授業ができるのです。子どもたちが、2学期の学習内容をしっかりと身に付けることができるこの時間はとても貴重です。

変えることで、子どもも、そして教職員も幸せになるのなら変えたほうがいいこともたくさんあるかもしれません。冬休みまであと少しの時間を子どもも教員も楽しんでほしいです。

